

学校だより

吹田市立片山小学校
吹田市朝日が丘町16番1号
電話 06(6387)8531

令和2年度(2020年度) 6月臨時号 <http://www2.suita.ed.jp/school/es/19-katayama>

「か」考える子 「た」たくましい子 「や」やさしい子 「ま」まなざしのひかる子

通常授業再開に寄せて

校長 生駒 靖子

6月1日から短縮授業ではありましたが、全学年分散登校により、毎日登校することができるようになりました。2週間のウォーミングアップで学校生活の感覚が戻ってきたところでしょうか？1年生は重たいランドセルを背負い、自分で登下校を行い、3時間授業も受けることができようになりました。先生といっしょに学校探検も行いましたね。

朝の登校時間、昼の登校時間にも正門で出迎えていますが、とてもうれしいことがあります。それは、“あいさつ”です。片山小の子どもたちは、どの学年でも本当に気持ちのいいあいさつを交わしてくれます。びっくりしました。しっかり目を見てください。微笑んでくれる子ども、会釈をしてくれる子ども、中には立ち止まってしっかり頭を下げて「おはようございます。」と模範的なあいさつをしてくれる児童もいます。“片山小学校の宝物”です。これは今に始まったことではなく、ご家庭での教育がベースとなり、これまで連続と受け継がれ、このような学校風土が培われたのではないかと思います。

この間も、低学年を中心に、多くの保護者の皆様が正門前まで登校の引率をしてくださっていました。正門に入って坂を登り切るお子様の後ろ姿を、しばらく立って見守っておられる方も少なくありません。「ご苦労様です。」等のお声かけに対して、「よろしくお願いします。」と返して下さいます。入学式でも「6年間しっかりとお願いさせていただき

ます。」とお話ししましたが、改めまして保護者の皆様の思い、お姿に直接触れ、その責任の重さを再認識しています。

いよいよ本日、6月15日から待ちに待った通常授業がスタートしました。実に3ヶ月半ぶりです。これまで2分割チームでしたが、クラス全員が一堂に会することができました。ようやくクラス開きです。学級ではこれまでと異なり、一人席です。話し合い活動はできず、給食の時間にも班の席にできません。

音楽の授業ではリコーダー奏や鍵盤ハーモニカを演奏することは、今は控えることになります。体育では友だちとの接触のある運動、理科では4人組の対面した実験や観察も、です。

これまでと異なり、様々な制約があり、大変窮屈な学校生活となりますが、まずは毎日学校に来て、勉強ができること自体をよしと捉え、できる範囲の中で、クラスの友だちと先生とのつながりを少しずつ紡いでいくことを大事にしていきたいと考えます。1学期間は、学校行事は見送りとなります。今後の状況にまだまだ見通しが持てないところではありますが、「どの子どもも元気で登校できる」、そんな温かさを感じさせる、緩やかな学級・学年・学校体制を整えてまいりたいと考えます。

急な暑さや6時間授業等で、子どもたちは疲れやすい状況となっているかと思えます。ご家庭におかれましても、体調管理に努めていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

「元気かな？アンケート」集約結果

5月末、第1回または第2回の分散登校時に、3年生以上は「元気かな？アンケート」を実施し、休校中の子どもたちの心身の状況把握に努めました。学年ごとに、裏面のような質問紙で実施しました。

“元気かな？アンケート”

(3年以上563名)

ねらい 心身の状況を把握し、必要に応じて個別対応する
対象 3年生以上の児童
2年生 “いま、どんなきもち？”を活用
1年生 担任から個別に聞き取り

体調

よい ふつう よくない
53.8% 44.2% 2.0%

体調 “よくない”の理由として

あまり眠れない 22人
食欲がわからない 3人
いらいらする 9人

2年生(157名) “いま、どんなきもち？”

肯定的回答 85人

・学校がたのしみ ・学校に来れたから ・わくわくするから
・学校にひさしぶりに行けてうれしいから ・学校がたのしいから
・ともだちができるから ・はやく友だちがつくりたいから
・みんなにあえてうれしいから ・先生に会えたから
・みんなげんきでよかった ・学校にいけて、みんなとあえてうれしい

否定的回答 72人

・ずっと家にいるのがきらい ・しゅくだいもしてつかれる
・ねむたいから ・いえからでれなくてひまだった ・学校がなかなかはじまらなくてつかれた
・学校にほとんど行けないからちょっとかなしい ・みんなに会えないから
・みんなについていけなかったらどうしよう ・ストレスがたまから ・早く学校に行きたいから
・コロナにかんせんするかもしれないから ・コロナウイルスがここにはいないか？
・コロナウイルス、だいじょうぶかな ・コロナがひろがっているから ・マスクしてつかれたから

不安なことがある

と回答した 145人中

勉強のこと 85人
友達のこと 33人
学校のこと 32人
おうちのこと 17人

不安なことがあると回答した145人中
不安なこと・その他のことでも

先生に聞いてもらいたい 25人
→担任から個別に聞き取り

不安なこと・聞いてほしいこと

家で勉強しているから(不安)
しっかり課題をやっていることを伝えたい
早く学校に行きたい 外で遊びたい
友達と遊びたい
家で妹とけんかが増えた 友達はどうしているか？
高学年にいじめられないか？
飼っている犬にコロナうつるのか？

2年生(157名)
“いま、
どんなきもち？”

自分で絵を選んで
理由を書きます



「うきうきの絵」を選んだ児童が半数強、「ため息等の絵」を選んで、コロナ禍に対して2年生であっても少なからず不安を感じている児童もいました。

「元気かな？アンケート」考察

☆ 思いの外、「体調不良」に印をつける児童は少なく、ほっとしました。

☆ 「不安」については、複数に○をつけた児童もいました。

そのうち、「先生に聞いてもらいたい」児童は少なかったですが、何らか不安に○をしている児童も含め、担任から個別にお話を聞き、言葉を交わし「大丈夫だよ。」等、声かけも行いました。

アンケート実施から3週間が過ぎますが、引き続き児童の様子については、担任を中心としながらもていねいな見取りを学校体制として行ってまいります。ご家庭でも何かお困りのことがありましたら、担任までお申し出下さい。

☆ 「最近がんばっていること、楽しかったこと」については、どの学年も「課題をがんばっている」「毎日、4時間分きちんと勉強している」「規則正しい生活や早寝早起きをがんばっている」等、課題を作成した教員の思いにも応えてしっかり家庭学習に取り組んでいたことがうかがえました。

「お手伝い」も多くの児童が挙げており、家族の一員として自分のできることをやっていることがわかり、頼もしく感じました。自分ができることが増えることは素晴らしいことです。「きょうだいの面倒、ご飯づくり、そうじや洗濯・洗濯物たたみ」等、「毎日」とか、「3食とも」という児童もいてびっくりしました。おうちの人も助かっていることでしょう。

「楽しかったこと」として、やはり「ゲーム」関係も多かったですが、「家族みんなでトランプをして楽しかった。」「家族みんなで散歩。」や「お父さんが家にいてよく遊んでくれる。」など、今までにない家族との時間を共有できたことを挙げている児童もいました。いい時間を過ごせましたね。

休校中の課題については、ご家庭でもかなりご支援いただいたことと推察します。ご多用中、様々にご協力賜り、誠にありがとうございました。

令和2年5月15日

元気かな？アンケート

3年 組 番 名まえ

学校が長いお休みの間、みなさんがどのように感じているかを教えてください。
あてはまるものに○をつけましょう。

① さいきんの体のちようしはどうですか。

よい ふつう よくない

② ①で「よくない」に○をした人はその理由に○をつけましょう。

あまりねむれない 食事がいまいちくなく いらいらする

その他()

③ 心配なことがありますか。もしあれば、あてはまるものに○をつけましょう。(いくつ○をつけてもいいです。)

ない

ある → 勉強のこと 友だちのこと 学校のこと おうちのこと

その他()

④ 先生にお話を聞いてもらいたいことがありますか。

はい いいえ

⑤ さいきん、がんばっていること、楽しかったことなどがあれば書きましょう。

地域・PTAの皆様の見守り活動に感謝申し上げます

登校時刻に合わせて10名以上の皆様が毎日子どもたちの安全のためにご協力いただいています。



6/2（火） 市長訪問



学校再開にあたり、市のホームページには市長メッセージ（5月28日更新）が掲載されています。“今回の開校判断は、「思い切った決断」ではなく、保健衛生と学校教育の両立を目指す「必然性のある決断」です。”と発せられています。市長自らが学校訪問をされるのは異例のことですが、小学校を代表し本校を視察されました。1年生の教室ではプロジェクターで教科書の内容や担任が準備したパワーポイント教材を投影し、授業を進めていました。国の掲げる“GIGAスクール構想”により、本市においても3万人の児童生徒にタブレット型パソコン等が配備される計画が浮上しましたが、コロナ禍の状況の中、その必要性が高まっていることから、少しでも早い時期に緊急配備されることをめざされているとのことです。実現されれば日々の授業スタイル、授業デザインが大きく変容します。また、本校では今年度からスターターが1名増員され、2名体制となりました。こういった人的支援についても子どもたちの多様なニーズに応え、質の高い教育環境を醸成するには今後ますます充実が求められます。一方、12日（金）までは1／2クラスサイズの授業を各教員は1日2回行っています。諸外国の多くはこういったサイズが標準ですが、今回の経験も将来像につなげるいいチャンスかもしれません。実際、子どもたちは静かな空間でしっかりと授業を受けています。また、衛生面では手洗い場やエアコン、換気扇、天井扇なども確認されていました。授業視察からこのような話題が挙がったところです。

6/8（月） 教育長訪問



午後2時過ぎ、校内を一巡していただき、30度を超える暑さの中でもしっかりと学習に取り組む様子をご覧いただきました。1年生はもうしっかりと鉛筆で学校探検の振り返りを書いています。6年生の教室には図工のスケッチの掲示があり、作成途中の作品もあります。3時間の短縮授業でも日々学習の跡を残し、教員がみとりを行いながら進めています。落ち着いて授業に臨む子どもの姿、ICT機器を用いたり、半具体物を手作りで作成し、視覚支援を行ったり、どの子どもにもわかりやすい授業の工夫に努める本校教員の姿も確認していただきました。事務職員、栄養教諭、養護教諭、調理員、校務員、スターター、たいよう学級の介助員等多くの専門職にも学校は支えられています。放課後の居場所として、ありんこ学級も視察されました。学校はチームとして動いています。